

HP用（公演主催者）

令和3年11月改訂

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、公益社団法人全国公立文化施設協会が示す「劇場、音楽堂等における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン（令和3年10月15日改定）」及びクラシック音楽公演運営推進協議会が示す「クラシック音楽公演における新型コロナウイルス感染症拡大予防ガイドライン(令和3年10月21日改定)」等（以下、ガイドライン）をご一読いただき、これらのガイドラインに沿った対応をお願いいたします。

特に、ご利用を申し込み前に下記の対応が可能であることをご確認ください（これらは施設特有の事情を踏まえ、ガイドラインと一部内容が異なっておりますので、ご注意ください）。

なお、公演の予約後は対応策の詳細についてお打ち合わせのお時間を作っていただけますようお願いいたします。

項目	対応策の詳細
ロビーにおける待機列について	密を作らないよう開場時間に余裕を持たせてください。 開場15分前頃からレセプションスタッフが待機列整理の配置に着きますが、レセプション配置時間前に列整理が必要な際は、主催者様でご対応ください。
収容率	[100%以内]大声での歓声・声援などが無いことを前提とするもの(クラシック音楽コンサート、ほか) [50%以内]大声での歓声・声援などが想定されるもの
座席配置	原則、指定席として下さい(主催者側で客席状況を管理調整できるようにするため)。
物販やサイン会など	実施する場合はガイドラインに沿って運営してください。特に物販関係者は不織布マスクの着用、手指消毒を徹底の上、人の手が触れるサンプル品は取り扱わないでください。
出演者等距離の確保	大ホールステージで目安65名、小ホールステージで目安25名 とし、これを超える場合は「クラシック音楽公演における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」等、公演ジャンル別のガイドラインを遵守してください。
出演者や公演関係者を含めた検温	検温を励行し、平熱と比べて高い発熱がある場合やガイドラインに記載の症状がある場合には自宅待機としてください。
公演関係者の感染防止策	施設内では正しいマスクの着用を原則とし、手指消毒や手洗いを徹底ください。また、楽屋やバックヤードでの密の防止に努めて下さい。（リハーサル室を別途お借り頂き、スペースを確保することも推奨。）
機材や備品等の共有制限	機材や備品、用具等の取扱者を選定し、不特定者の共有を制限ください。
来場者の検温対応	非接触検温器でレセプションスタッフがご対応いたします。ただし、発熱が見られた場合の退場案内や返金対応等は主催者にてご対応頂きますので、事前に検討・周知をお願いいたします。
来場者の氏名・電話番号の把握	チケットシステムの活用や、チケット半券に記入する等、来場者の氏名と電話番号の把握に努めてください。また、保健所等の公的機関に情報が提供されることを事前周知ください。
もぎり方法	来場者自身でもぎって箱に入れる場合は、その方法を事前周知ください。エントランス内の密集が予想される等、レセプションスタッフが感染対策を講じたうえで対応することも可能ですので、その場合は公演打合せでご相談ください。
来場者への事前告知の徹底	マスク着用必須や、体調不良者の入場制限、接触や声援の禁止、保健所への協力等、注意事項の事前周知を徹底ください。
一部通常サービスの停止	クローク、カフェコーナー、ブランケット貸出等一部の施設サービスは行いません。ただし、クロークについては大型荷物のみ預かります。
従事者に対する拡大防止策	密を防ぐ人員配置やローテーションの工夫、マスクや手指消毒、衣類洗濯、出勤前の検温の徹底
十分な入退場時間・仕込時間等の確保	密を作りづらい入退場時間の確保とともに、仕込・リハーサルなどでも可能な限り密を避けるようお願いします。
楽屋やリハーサル室の換気	高機能空調設備による機械換気を行います。
緊急連絡先の把握	全関係者の緊急連絡先の把握をお願いします。
消毒時間の確保	前後の予約状況に応じ、入退場の時間帯に清掃員が消毒を行う場合があります。
来場者の体調が急変した場合	可能な限り楽屋の1部屋を確保し、体調不良者をその部屋へ案内。必要な場合は救急対応をお願いします。
保健所等への協力	関係者、来場者の連絡先を把握、必要に応じて保健所等への協力をお願いします。

この他の詳細な対応策等については、公演打ち合わせ（公演日のおよそ1か月前）において確認させていただきます。

事前準備・確認リスト

項目
<input type="checkbox"/> 来場者・関係者用の予備マスク・フェイスシールドのご用意。
<input type="checkbox"/> 座席配置は原則、指定席とする。
<input type="checkbox"/> 救急対応用備品の用意（手袋・フェイスシールド等）
<input type="checkbox"/> 物販を行う場合、飛沫感染防止策（アクリル板等）※アクリル板1枚貸出し可能。
<input type="checkbox"/> 出演者・関係者の緊急連絡先名簿
<input type="checkbox"/> 感染の拡大状況によっては、入場者数の上限に増減が生じる場合がありますのでご了承ください。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、クラシック音楽公演運営推進協議会が示す「クラシック音楽公演における新型コロナウイルス感染症拡大予防ガイドライン(令和3年10月21日改定)」
（以下、ガイドライン）をご一読いただき、ご利用をお申し込み前に下記の対応が可能であることをご確認ください。

項目	対応策の詳細
参加者等の人数調整と距離の確保	参加者同士の十分な距離の確保し、原則マスクを着用ください。（大リハーサル室は最大65名、小リハーサル室は最大10名を目安とし、これを超える場合は「クラシック音楽公演における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」等、演奏ジャンル別のガイドラインを参考にしてください。）
参加者の検温	参加者は必ずご自身で検温し、ガイドラインに従って体調不良等の方は入館しないよう徹底してください。
参加者の氏名・電話番号の把握	参加者の氏名と電話番号を事前に把握し、何かあった際に滞りなく連絡を取れるようにしてください。
参加者への事前告知の徹底	マスク着用必須や、体調不良者の入場制限、保健所への協力等、ガイドラインの内容の周知と対策を徹底ください。
ピアノ等の利用	ピアノ等、一部の消毒が難しい貸出備品については、室内に設置された手指消毒剤で使用前後の消毒を徹底ください。
時間差による入退室など密集しない配慮	時間差による入退室など、可能な限り密集を避けるようをお願いします。
室内の換気	高機能空調設備による機械換気を行います。
消毒時間の確保	終了時間に合わせ、作業員が消毒に入ります。また使用した備品は、利用後の消毒のため、一か所にまとめるようお願いします。
保健所等への協力	関係者、参加者の連絡先を把握、必要に応じて保健所等への協力をお願いします。

この他の詳細な対応策等については、必要に応じてお電話にて確認させていただきます。